

# 自立 敬愛



## 両部とも大健闘！

▼10月1日(木)、峡南地区新人体育大会が行われました。この大会は、3年生からバトンを受け継いだ1・2年生が主体となる初めての公式戦です。

▼男子卓球部は、三珠中学校を会場に、本校、増穂中、三珠中の3校で争われました。はじめに行われ



た個人戦には、17名が参加し、2年生の中山太希さんと1年生の佐野健さんが次々にラリー



を制し、見事1回戦を突破しました。▼午後は団体戦が行われ、個人戦では初戦で涙をのんだ2年生の寺澤将二さんと1年生の望月陽翔さんが、躍動



感のある素晴らしい動きで、見事に勝利しました。しかし、部員が4名の本校は、1名が不



戦敗となる厳しい状況もあり、3位となりました。

▼私は会場長として、一日中、子どもたちの様子を見ていましたが、注意のあったコロナ対応をしっかりするなど、とても立派な態度で過ごし、ゲームにおいても、4人が懸命にプレーし、ゲームを重ねるごとに動きがよくなる姿を見て、とてもうれしく思いました。今回、十分な手応えを得たことと思います。さらに練習に励み、力を付けて欲しいと思います。▼一方、女子バレーボールは六郷中学校を会場に7チームが参加し行われました。子どもたちや保護者の理解を得る中で、ご承知の通り、バレーは6人制ですが、1年生が5人しかいない本校は、特別参加という形で、参加させていただきました。▼私も、何度か練習時に指導のお手伝いをしましたが、5人とも本番で、何とかチームとして戦えるようにと必死に練習をしていました。その結果、サーブも入るようになり、3段攻撃とまではいきませんが、

ボールがつながるようになりました。▼こうして臨んだ大会本番でしたが、残念なことに前日練習で負傷者が出て、4人編成というさらに厳しい状況での試合となりました。試合は1セットマッチで行われ、増穂中から7点、三珠中から11点、身延中から12点と、試合を重ねるごとに多くの点をとれるようになりました。▼負傷欠場した麻友さんも、ベンチから終始大きな声援をおくり、5人全員が全力を尽くして戦った素晴らしい大会となりました。



## 部の再編を行います

▼このように素晴らしい新人戦になったのですが、少子化が進む本校にとって、部の再編問題は、避けて通れない大きな課題であり、今このタイミングで、今後の部活動の体制をきちんと考え、子どもたちにとって最良の方向性を示さねばならないと考えています。▼具体的には、女子のバレーボール部をこのままの状態にしておいてよいのかという問題です。今回、1年生の5名は、1学期には先輩である3年生とともに総合体育大会に参加することができました。そして、新人戦では、5人でチームをつかって精一杯プレーすることができました。この間の先輩や仲間と共に活動した経験は、必ずこの後の学校生活に生きてくるものと思います。▼しかし、来年度の女子入学生は2名、再来年度も2名……という非常に厳しい見通しにあります。学校としては、新人戦が終わったこの機に、バレー部を廃部とし、個人でも団体でも参加できる女子卓球部を新設し、1年生にも転部してもらいたいと考えています。▼当然、この話は学校が一方向的に進めてよい話ではありませんので、今後、生徒や保護者の理解を得るための話し合いの場を持ちながら進めて参ります。ご理解の程、よろしく願いいたします。